

とことこ通信

平成28年7月15日
ときわ・ことり保育園

“とことこ”は、園長が「ときわ(保)・ことり(保)」から頭一文字をとったもので、幼子が、歩く姿をイメージして名付けました。

「私達大人も、一步一步しっかりと踏みしめて歩きたい、成長していきたい」との思いも込めています。

幼児は、いろいろな体験を通して自らの世界を広げていくと言われています。

・話を聴いて…

(子どもの話をじっくり聴くことで子どもの思考力を深めていきます。)

・体験するということ…

(自然の中で、いろいろなものを見たり触れたりすることにより生命の大切さを知り、ものごとへの関心を高めます。「自然体験」が多いと「道徳観・正義感」が身に付く傾向があることが国の調査で明らかになっています。友達と、身体を使った遊びをさせましょう。)

・お手伝い…

(お母さん、お父さんに喜んでもらえると、手伝いが好きになります。喜ばれ、誉められることで「もっと、何かしてあげたい」「自分がやらなければ」と考え、思いやりや責任感が育ちます。

子どもはいつでも、ありのままの姿を見せてくれます。不安なことがあれば、甘えたり、泣きわめいたり、困らせてみたり。あらゆる方法で、精いっぱい伝えようとしています。

一つひとつの経験が大きな喜びに繋がりますよう見守っていきたいと思います。

☆子ども達の瞳きらきら輝き続きますように…

